



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 三櫻工業株式会社
コード番号 6584 URL <http://www.sanoh.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 篠原 利幸
問合せ先責任者 (役職名) 財務会計部長代理 (氏名) 榎本 新太郎

TEL 03-5793-8417

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	60,720	21.6	2,154	△4.6	2,564	2.3	1,323	18.1
26年3月期第2四半期	49,951	13.9	2,259	10.0	2,506	43.8	1,120	23.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,535百万円 (△54.0%) 26年3月期第2四半期 3,338百万円 (717.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	36.34	—
26年3月期第2四半期	30.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	101,004	40,746	37.5	1,041.92
26年3月期	97,403	39,751	38.0	1,016.84

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 37,921百万円 26年3月期 37,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.50	—	11.50	22.00
27年3月期	—	11.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	14.5	5,800	25.8	5,300	11.0	2,500	14.3	68.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	37,112,000 株	26年3月期	37,112,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	716,185 株	26年3月期	716,185 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	36,395,815 株	26年3月期2Q	36,396,030 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、国内においては、政府の経済政策を背景に総じて緩やかな回復傾向が続いているものの、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動や物価上昇等により、景気の先行きは不安定な状況にあります。一方、海外においては、米国は、金融緩和の縮小による影響が懸念されるも、堅調な個人消費などに支えられ景気回復の傾向が継続しています。欧州は、ユーロ圏では緩やかな回復基調にありますが、ロシアは、不安定な政治経済の状況による市場環境の冷え込みなど先行きに不透明感がみられます。中国は、安定した需要を背景に底堅く推移しました。アジアは、インドでは持ち直しの動きがみられるものの、アセアン地域では総じて足踏み状態となっております。

このような環境のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は、昨年末に子会社化したガイガー オートモーティブ社を第1四半期から連結対象としたこと等により607億20百万円と前年同期に比べ、107億69百万円（前年同期比21.6%増）の増収となりました。営業利益につきましては、21億54百万円（前年同期比4.6%減）と減益となりましたが、為差益の計上等により、経常利益は25億64百万円（前年同期比2.3%増）、四半期純利益は13億23百万円（前年同期比18.1%増）とそれぞれ増益となりました。

所在地別セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 日本

国内自動車販売台数の減少等により、売上高は192億18百万円（前年同期比4.3%減）となりました。営業利益は主に売上の減少等により、7億62百万円（前年同期比56.5%減）となりました。

② 北南米

自動車需要回復に伴う新規受注製品の増加および為替換算による影響等により、売上高は180億38百万円（前年同期比9.7%増）となりました。また営業利益は売上の増加及び原価改善効果等により、5億82百万円（前年同期比2468.2%増）となりました。

③ 欧州

昨年末に子会社化したガイガー オートモーティブ社を第1四半期から連結対象とした影響等により、売上高は121億25百万円（前年同期比378.1%増）、営業利益は5億7百万円（前年同期比1606.9%増）と大幅な増収、増益となりました。

④ 中国

新工場の本格稼働の寄与により、売上高は43億32百万円（前年同期比19.0%増）となりました。また、売上増加による増益効果がありましたものの、新規製造拠点の立ち上がり費用の計上等により1億34百万円の営業損失（前年同期は1億64百万円の営業損失）となりました。

⑤ アジア

当期は、タイでの政情不安などによる景気低迷の影響や自動車購入支援政策終了による需要の反動減等が影響し、売上高は70億7百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は5億15百万円（前年同期比39.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は1,010億4百万円となり、前連結会計年度末に比べて36億1百万円増加しました。主な要因は現金及び預金の増加33億67百万円、売上債権の増加10億77百万円、投資その他の資産の増加6億98百万円、たな卸資産の減少8億95百万円、無形固定資産の減少4億52百万円等であります。負債合計は602億58百万円となり、前連結会計年度末に比べて26億6百万円増加しました。主な要因は長期借入金の増加38億31百万円、仕入債務の減少5億74百万円、短期借入金の減少13億93百万円、未払法人税等の減少7億9百万円等であります。

純資産は407億46百万円となり、前連結会計年度末に比べて9億96百万円増加しました。主な要因は利益剰余金の増加8億27百万円、その他有価証券評価差額金の増加6億26百万円、為替換算調整勘定の減少6億69百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により38億95百万円増加、投資活動により27億56百万円減少、財務活動により24億51百万円増加などの結果、当第2四半期連結会計期間末には116億12百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が25億19百万円、減価償却費が25億68百万円、売上債権の増加による資金減13億72百万円、法人税等の支払による資金減が17億30百万円あったことなどにより、38億95百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、自動車部品事業を中心とした有形固定資産の取得による支出30億16百万円等により、27億56百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の増加による収入47億2百万円、長期借入金の返済による減少13億66百万円等により、24億51百万円の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月14日の「平成26年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が119百万円増加し、利益剰余金が77百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,308	11,675
受取手形及び売掛金	17,425	18,503
商品及び製品	4,459	4,279
仕掛品	5,447	5,117
原材料及び貯蔵品	8,689	8,305
繰延税金資産	1,159	921
その他	2,802	2,980
流動資産合計	48,290	51,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,742	15,734
機械装置及び運搬具	53,244	53,013
工具、器具及び備品	9,639	9,690
土地	3,993	4,159
リース資産	202	216
建設仮勘定	3,003	3,574
減価償却累計額	△52,363	△53,061
減損損失累計額	△47	△47
有形固定資産合計	33,413	33,278
無形固定資産		
のれん	1,116	869
リース資産	76	59
その他	1,449	1,261
無形固定資産合計	2,641	2,189
投資その他の資産		
投資有価証券	7,088	7,969
長期貸付金	3	2
繰延税金資産	5,449	5,263
その他	520	525
投資その他の資産合計	13,060	13,758
固定資産合計	49,113	49,225
資産合計	97,403	101,004

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,781	12,206
短期借入金	14,074	12,680
未払金	1,631	1,422
リース債務	56	58
未払法人税等	1,534	825
未払消費税等	397	465
賞与引当金	942	1,226
役員賞与引当金	37	54
製品保証引当金	136	165
その他	2,060	2,804
流動負債合計	33,646	31,905
固定負債		
長期借入金	6,029	9,860
リース債務	426	355
繰延税金負債	73	179
役員退職慰労引当金	174	174
退職給付に係る負債	17,239	17,726
その他	65	60
固定負債合計	24,006	28,354
負債合計	57,652	60,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	2,998
利益剰余金	31,979	32,806
自己株式	△477	△477
株主資本合計	37,981	38,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,817	3,444
為替換算調整勘定	△37	△706
退職給付に係る調整累計額	△3,752	△3,624
その他の包括利益累計額合計	△972	△887
少数株主持分	2,742	2,825
純資産合計	39,751	40,746
負債純資産合計	97,403	101,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	49,951	60,720
売上原価	41,773	52,038
売上総利益	8,178	8,682
販売費及び一般管理費	5,919	6,527
営業利益	2,259	2,154
営業外収益		
受取利息	17	16
受取配当金	55	91
為替差益	379	539
その他	34	99
営業外収益合計	484	744
営業外費用		
支払利息	191	272
その他	46	62
営業外費用合計	238	334
経常利益	2,506	2,564
特別利益		
固定資産売却益	1	5
特別利益合計	1	5
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	144	48
特別損失合計	144	50
税金等調整前四半期純利益	2,363	2,519
法人税、住民税及び事業税	1,150	1,046
法人税等調整額	△165	△25
法人税等合計	986	1,021
少数株主損益調整前四半期純利益	1,377	1,498
少数株主利益	258	175
四半期純利益	1,120	1,323

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,377	1,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	480	626
為替換算調整勘定	1,481	△717
退職給付に係る調整額	—	129
その他の包括利益合計	1,961	37
四半期包括利益	3,338	1,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,904	1,408
少数株主に係る四半期包括利益	435	127

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,363	2,519
減価償却費	2,241	2,568
のれん償却額	—	113
有形固定資産除却損	144	48
受取利息及び受取配当金	△72	△106
支払利息	192	272
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	△3
売上債権の増減額(△は増加)	△1,272	△1,372
たな卸資産の増減額(△は増加)	△67	481
仕入債務の増減額(△は減少)	△146	△398
賞与引当金の増減額(△は減少)	151	284
未払金の増減額(△は減少)	991	△171
退職給付引当金の増減額(△は減少)	455	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	566
その他	△699	974
小計	4,282	5,774
利息及び配当金の受取額	72	106
利息の支払額	△160	△255
法人税等の支払額	△1,263	△1,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,931	3,895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,682	△3,016
有形固定資産の売却による収入	1	3
投資有価証券の取得による支出	△8	△10
その他	△193	267
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,883	△2,756
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	608	△423
長期借入れによる収入	5,161	4,702
長期借入金の返済による支出	△984	△1,366
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△382	△419
少数株主への配当金の支払額	△42	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,362	2,451
現金及び現金同等物に係る換算差額	268	△155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,678	3,435
現金及び現金同等物の期首残高	7,710	8,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,389	11,612

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	20,084	16,444	2,536	3,640	7,247	49,951	—	49,951
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,563	72	—	994	109	9,738	△9,738	—
計	28,647	16,516	2,536	4,634	7,356	59,689	△9,738	49,951
セグメント利益 又は損失(△)	1,752	23	30	△164	852	2,492	△233	2,259

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△9,738百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△233百万円には、たな卸資産等の調整額△212百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	19,218	18,038	12,125	4,332	7,007	60,720	—	60,720
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,783	111	—	937	105	8,936	△8,936	—
計	27,001	18,148	12,125	5,269	7,112	69,656	△8,936	60,720
セグメント利益 又は損失(△)	762	582	507	△134	515	2,231	△76	2,154

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△8,936百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△76百万円には、のれんの償却額△51百万円、顧客関連資産の償却額△56百万円およびたな卸資産等の調整額37百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。